



発行
群馬大学工学部広報室
桐生市天神町一丁目5-1
郵便番号 376-8515
電話：0277(30)1011
FAX：0277(30)1020
http://www.tech.gunma-u.ac.jp
E-mail: kouhou@jimu.gunma-u.ac.jp
編集責任者：太田直哉 編集担当者：齋藤昭吾

◆紙面紹介◆
2面 受賞報告
3面 受賞報告/新任教員紹介
4面 キックオフミーティング/テクノドリームツアー/発明想像コンクール/メカメカフェス/クラシックカーフェスティバル/オリンピック出場

投稿歓迎
本紙を工学部の「意見交換の場」として、教職員、学生、そして多くの方々から記事はもちろなく、写真・マンガ・挿絵等広く投稿を歓迎します。

巣立ちゆく君たちへ

皆さん、卒業・修了おめでとう。伝統ある工学部にまた新たな卒業生が加わることをたいへん嬉しく思います。これまでの皆さんの努力が実を結び、工学士、工学修士、工学博士の学位を取得できたことを心からお祝い致します。



工学研究科長 工学部長 板橋 英之

自信を持って挑戦！

さて、四月から始まる新たな人生に夢をふくらませていることと思いますが、これから皆さんが歩みだす社会は、決して良好な状態にあるとは言えません。二〇〇八年秋に起こった金融危機以来、世界経済は大きく混乱し、日本もその煽りを受けて

の業がもしもありません。しかし、誰もができないと思っていることに挑戦することこそ最もやりがいのあることと考えます。勇気をもって立ち向かうことが重要となります。これには工学分野でのブレイクス

これまでの経験から、真剣が必要になります。前例がないため、いろいろ手探りでやらなくてはならないこともたくさんあるでしょう。たいへんな時間と労力が必要になることもあるでしょう。場合によ

これまでの経験から、真剣が必要になります。前例がないため、いろいろ手探りでやらなくてはならないこともたくさんあるでしょう。たいへんな時間と労力が必要になることもあるでしょう。場合によ

これまでにない経験から、真剣が必要になります。前例がないため、いろいろ手探りでやらなくてはならないこともたくさんあるでしょう。たいへんな時間と労力が必要になることもあるでしょう。場合によ

これまでにない経験から、真剣が必要になります。前例がないため、いろいろ手探りでやらなくてはならないこともたくさんあるでしょう。たいへんな時間と労力が必要になることもあるでしょう。場合によ

これまでにない経験から、真剣が必要になります。前例がないため、いろいろ手探りでやらなくてはならないこともたくさんあるでしょう。たいへんな時間と労力が必要になることもあるでしょう。場合によ

これまでにない経験から、真剣が必要になります。前例がないため、いろいろ手探りでやらなくてはならないこともたくさんあるでしょう。たいへんな時間と労力が必要になることもあるでしょう。場合によ

卒業生へのメッセージ

K君、修了おめでとう。荒牧の講義できみと出会ってから、もうすぐ六年になります。この間、きみは驚くほど成長しました。もちろん、これからは成長し続ける

も、大抵のことは最後には時間が解決してくれるものです。そのあとに来ることを楽しみに待つ、そんな態度も時には必要です。

Y君、修了おめでとう。Y君の能力の低下を指摘する声がよく聞かれますが、きみはどっと思いませんか。おそらく、はじめは、言われたことをただこなすだけで精一杯かも知

行動するということに心がけてほしいと思います。相手に対しては誠意をもって、仕事そのものには誠実に、そして行動には責任をもって取り組

心配はまったくなく、周囲から信頼される人間であってほしいと思います。ところで、今度の修了にあ

たって、誰かに感謝の気持ちを伝える予定はありますか。できたら、ご両親やご友人、ご同僚に、きみに感謝の言葉を伝えてください。きみに感謝の言葉を伝えることは、きみ自身にとっても、周囲の人々にとっても、とても大切なことだと思います。

ご両親をはじめ、多くの人が、きみに感謝の言葉を伝えてください。きみに感謝の言葉を伝えることは、きみ自身にとっても、周囲の人々にとっても、とても大切なことだと思います。

ご両親をはじめ、多くの人が、きみに感謝の言葉を伝えてください。きみに感謝の言葉を伝えることは、きみ自身にとっても、周囲の人々にとっても、とても大切なことだと思います。



副研究科長 横尾 英俊

修了する「きみ」へ

さて、きみは就職によって、同僚のほとんどが先輩という環境に飛び込むことになると思います。そういう環境への適応能力、特にコミュニケーション

さで、きみは就職によって、同僚のほとんどが先輩という環境に飛び込むことになると思います。そういう環境への適応能力、特にコミュニケーション

さで、きみは就職によって、同僚のほとんどが先輩という環境に飛び込むことになると思います。そういう環境への適応能力、特にコミュニケーション

さで、きみは就職によって、同僚のほとんどが先輩という環境に飛び込むことになると思います。そういう環境への適応能力、特にコミュニケーション

さで、きみは就職によって、同僚のほとんどが先輩という環境に飛び込むことになると思います。そういう環境への適応能力、特にコミュニケーション

さで、きみは就職によって、同僚のほとんどが先輩という環境に飛び込むことになると思います。そういう環境への適応能力、特にコミュニケーション

さで、きみは就職によって、同僚のほとんどが先輩という環境に飛び込むことになると思います。そういう環境への適応能力、特にコミュニケーション

さで、きみは就職によって、同僚のほとんどが先輩という環境に飛び込むことになると思います。そういう環境への適応能力、特にコミュニケーション



イノベーションと伝統
最近の科学技術関連の記事や指針、プロジェクトなどイノベーションという言葉がよく使われる。自然発生的に使われるようになった言葉と異なり、イノベーションの定義は比較的はっきりしている。新しい技術やアイデアを発信し、社会的に変革をもたらす人や組織、社会形態などを示す。

定義から分るようにイノベーションが影響するのはすべて未来である。その内容によって、個人、組織、また国の隆盛が左右されることになる。卒業して社会に出ていく皆さんにとっては、これから日本で最も重要なイノベーション、すなわち技術革新を担っていくことになるだろう。その時点ではたいしたことがないと思っても、いずれ大きな流れになることも多い。アイデアの大小は左右されず、確実に実現していってほしい。

▼時間を軸にすると、イノベーションの反対側は、過去の資産、すなわち歴史と伝統である。イノベーションにより多くの成果が得られるが、ただ一つ歴史と伝統だけは失っては得ることができない。科学技術と並ぶ輝かしい日本の歴史と伝統を、他の国の人にも是非伝えていってほしいと思う。

おめでとう。さようなら。



キックオフミーティングが開催される

科学技術振興調整費 「デジタルを活かす アナログナレッジ養成拠点」

本拠点は群馬大学の中期目標の一つであるアナログ回路技術を核にした教育研究拠点形成の第一歩であり、今後五年間にわたる文科省科学技術振興調整費「地域再生人材育成拠点形成」の支援を受けて実施するものである。座学と実習を組み合わせた人材育成プログラムの開発と実施、外部講師の育成、学内講師と学外講師がアナログ・エキスパートグループとなり企業の研究開発における課題の解決を図るアナログ工房講座を拠点の三本柱とし、人材育成が駆動した地域の再生を目的としている。五年後は、座学講座七講座、実習講座五講座の陣容となり地域企業と共に大学院生を対象として、実践的な研究開発能力を育成する基盤的な知識を習得できる講

テクノドリームツアー2009開催

総来場者数3320人

十月十七日(土)、工学部で桐生市近郊の子どもたちを対象にした「テクノドリームツアー2009」を開催した。この企画は若者の理工系離れ対策として、子どもたちから理科の楽しさに接してもらおうと、工学部の学園祭と併せて実施したものである。「見て学んで科学の世界を体験しよう」というテーマで、実際に体験できるアトラクションをたくさん用意し、興味のあるものを選んで楽しむ自由体験方式で行った。



「科学でものづくり」ロケット

総来場者数は昨年の三千二百五十人を上回る三千三百二十一人となり、過去最高を更新した。体験型アトラクションは全部で十六件あり、「手作りチーズ体験教室」「静電気で遊ぶ」「空気砲で遊ぶ」「シヤボン玉で遊ぶ」「科学でものづくり」ロケット

師がアナログ・エキスパートグループとなり企業の研究開発における課題の解決を図るアナログ工房講座を拠点の三本柱とし、人材育成が駆動した地域の再生を目的としている。五年後は、座学講座七講座、実習講座五講座の陣容となり地域企業と共に大学院生を対象として、実践的な研究開発能力を育成する基盤的な知識を習得できる講



第5回発明想像画コンクール

第5回発明想像画コンクール 応募総数過去最高1780作品

平成十七年からはいまいった発明想像画コンクールが今年度も実施された。同コンクールは、地域理科教育の充実を目的として実施しているものであり、平成二十一年七月十五日〜九月七日までの間に、作品の募集を行った。群馬県内の小中学校百四十八校から千四百六十五点、栃木県内の小中学校三十二校から二百八十三点、その他の小中学校四校から三十二点となっており、合計百八十四校から過去最高となる千七百八十点もの応募が寄せられた。九月三十日、十月一日には、工学部記念館で、本学関係者(学生、教職員、工業会など)による審査会が行われ、約二百人に

座群を作っていく。桐生キャンパスで行われた本拠点のキックオフミーティングは、年度末の忙しい中であったが県内のエレクトロニクス関連企業の代表二十二名など総勢百人近い参加者を集めて盛大に開催された。まず本拠点の運営委員会委員長でもある平塚理事のあいさつの後、高田学長から本拠点の意義と期待についてのあいさつがあった。その後、群馬県知事代理として群馬県産業経済部部長の柿沼氏からあいさつがあり、人材育成の重要性

と本拠点で実施する講座群を地域産業の活性化のために群馬県が共催し、支援していくことなど力強い発言をいただいた。さらに、板橋工学研究科長より「さらに多くの科学技術振興調整費等の外部資金を獲得することで本学の特徴を育てていきたい」などの言葉をいただいた。

この後二件の基調講演が行われたが、まず半導体設計製造企業の立場から、日本のエレクトロニクス関連企業が共に同じ運営している半導体産業研究所の所長である前口賢二氏による講演が行われた。日本の半導体産業の現状と課題、人材育成、特にアナログ回路技術関連の人材育成の難しさなど本拠点への期待が述べられた。次に地域の企業の代表として、半導体検査装置では世界のトップシェアを有する株式会社アドバンテス人が人材育成を目的として設立したアドバンテスアカデミー代表取締役である中谷隆之氏より講演があった。アドバンテスにおける技術教育人材育成への取り組みと、本拠点を企業内の人材育成に活用す

の会員への加入を勧め県内全域に周知するなど新たな取り組みも考えられる。最後に、同コンクールの実施に際し、多大な協力を賜りました教職員・学生の皆さまにお礼申し上げます。(広報室 齋藤昭彦)

を除去)の教育委員会の加入により、昨年度までの約三万人人近く大幅に増加しており、このことが今年度の応募点数の増加につながったと思われる。来年度以降は、郡部の離れた町や村にも工学クラブ

の期待が述べられた。当初の予定を十五分も超過する熱の入った基調講演であり、聴講した大学院生など本学学生にとっても、将来の技術者、研究者として今大学で何を身に付けていなければならないかなど多くの示唆に富んだ内容であった。

本拠点の第一回目の座学講座が一月二十七日に群馬県産業技術センターで開催された。地域企業の技術者二十人、大学院生三十人程度の受講生を集めて本学の遠坂俊昭客員教授を講師として開催したが、今後も多くの講座群を開講していく予定である。この分野に興味のある教職員、また計測、制御、メカトロニクスなどエレクトロニクス分野に限定せず関係ある研究室の実践的な教育プログラムとして、また研究における課題解決の一助として本拠点を最大限活用していただきますようお願い申し上げます。

なお、本学ホームページ、科学技術振興調整費のリンクにて随時、実施講座の内容、受講生募集等を行いますので、ご覧ください。(電気電子工学専攻 山越秀樹)

第16回小中高生向けイベント メカメカフェア2009

メカメカフェアは群馬地区の小中高生に機械、科学および技術の楽しさを体験してもらおうという主旨で、(社)日本機械学会関東支部群馬ブロックが毎年開催しているイベントである。今年で十六回目を迎え、群馬ブロックの大イベントになっている。今年度は日本機械学会より「機械工学振興事業資金」の助成を受け、群馬大学工学部、工学クラブ、ならびに館林市教育委員会、群馬大学科学技術学館との共催で、平成二十一年十月三十一日(土)に、館林市の向井千秋記念子ども科学館で開催された。群馬県、館林市、上毛新聞社、NHK



メカメカフェア2009

前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、桐生タイムス社、F.M.桐生、群馬大学科学技術振興会、群馬地区技術交流会の後援をいただき、十一月二日(月)には地元紙である上毛新聞にフェア開催の記事を掲載していただいた。

当日は、富士重工(株)、NSKプレジジョン(株)、三洋電機(株)、群馬産業技術センター、群馬工業高等専門学校、群馬自動車大学校、

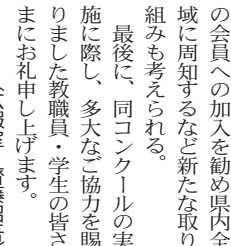
の期待が述べられた。当初の予定を十五分も超過する熱の入った基調講演であり、聴講した大学院生など本学学生にとっても、将来の技術者、研究者として今大学で何を身に付けていなければならないかなど多くの示唆に富んだ内容であった。

本拠点の第一回目の座学講座が一月二十七日に群馬県産業技術センターで開催された。地域企業の技術者二十人、大学院生三十人程度の受講生を集めて本学の遠坂俊昭客員教授を講師として開催したが、今後も多くの講座群を開講していく予定である。この分野に興味のある教職員、また計測、制御、メカトロニクスなどエレクトロニクス分野に限定せず関係ある研究室の実践的な教育プログラムとして、また研究における課題解決の一助として本拠点を最大限活用していただきますようお願い申し上げます。

なお、本学ホームページ、科学技術振興調整費のリンクにて随時、実施講座の内容、受講生募集等を行いますので、ご覧ください。(電気電子工学専攻 山越秀樹)

第4回クラシックカーフェスティバル 桐生キャンパスで開催

平成二十一年十一月一日(日)工学部桐生キャンパスにてクラシックカーフェスティバルが開催された。市内のクラシックカーの愛好家らが委員会をつくり、二



クラシックカーフェスティバル

回で四回目を迎える。開催第一回の来場者は七百人程度だったが、第二回は一万二千人、第三回は一万五千人と年々来場者数は増加し、本年度(第四回)は前年と同様の一万五千人の来場者があった。

今年度は、展示車のほかにラリーの募集も行い七十台近い車のラリーとして、桐生近郊の目的地に向けキャンパスをあとにした。また、子ども向けにクラシックカーを描く「子どもお絵かき大会」などもあり、会場の壁には、たく

最後に、ご協力を頂いたクラシックカーフェスティバルin桐生実行委員会の皆さま、および教員、事務員の方々に厚くお礼申し上げます。(広報委員)

決の一助として本拠点を最大限活用していただきますようお願い申し上げます。

なお、本学ホームページ、科学技術振興調整費のリンクにて随時、実施講座の内容、受講生募集等を行いますので、ご覧ください。(電気電子工学専攻 山越秀樹)



バスケットボール対戦出場

建設工学科二〇〇七年卒業の山浦麻葉さんが、二月十二日から開催されているバスケットボール対戦に出場しました。工学科として山浦さんを応援するため、横断幕を用意し職員員皆で応援していただきました。惜しくも、決勝リーグ

に進むことはできませんでしたが、ロシア戦で投げ逆転勝利するなど活躍がありました。この大会にて一回り大きくなり、また四年後の二〇一四年ソチオリンピックに出場できるようにがんばってほしいと願っています。(広報委員)

行事予定 INFORMATION 行事予定
(3/1以降の予定について)

平成22年3月24日(水) 学位記授与式
4月11日(日) アースデイ in 桐生2010